

平成22年度 事務事業評価シート		部署名	公営競技事務所		No	1
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	7	観光・交流の振興	4	宿泊・娯楽施設の充実
事業名	山陽オートレース場汚水処理施設全面改修工事					
予算費目	款	1	競走事業費	項	2	事業費
	細目	1	施設改善費	細々目	1	施設改善費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ( )				予算種別	継続

## 1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
汚水処理施設は、昭和48年に建設を行ってから30年以上経過し、施設の老朽化が進み、補修等により対応している。しかし、機能維持が非常に困難な状況にあり、施設の整備、充実が求められていた。	オートレース事業を継続するため、全面改修を図る。	特定活性化事業として、次年度認定申請を行う(事業実施年度交付金交付額の1/3を限度に認定申請し還付を受ける制度)。	
活動指標		成果指標	
故障等により機能が停止し、レースの中止を余儀なくされたり、河川の汚染等公害の発生源となることを防ぐ。		全面改修工事が完了し、安定的なレース運営が可能となり、利用者の利便性が高まった。	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
152,040,000円	152,370,700円	152,370,700円	152,370,700円
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

## 2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	工事監理委託	9,440	9,440,000	財(源割内合訳)	国庫支出金( )		
	全面改修工事	127,600	127,599,650		県支出金( )		
	流入管設備工事	15,000	12,568,500		地方債( )		
	流入管設備追加工事	0	2,762,550		その他(基金)	152,040	152,370,700
			一般財源( )				
合計		152,040	152,370,700	合計		152,040	152,370,700
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		0.25	932				

## 3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

## 4 ACTION

課	題	改	善	策

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	公営競技事務所	No	2
-----	---------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	7	観光・交流の振興	4	宿泊・娯楽施設の充実
事業名	地域公益事業					
予算費目	款	1	競走事業費	項	2	事業費
	細目	2	周辺対策事業費	細々目	1	周辺対策事業費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ( )				予算種別	継続

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
オート事業収益の一部を地域住民の体育、福祉の振興に寄与することを目的とし、継続的に実施。	地域住民の体育、福祉の振興に寄与することにより、オートレース事業に対する理解の増進を図る。	担当課からの要望を企画課で集約。小型自動車競走事業特別会計から積立てた財政調整基金を取り崩して事業を実施する。	
活動指標		成果指標	
市内の施設の改修等により、地域福祉の振興に寄与することで、オートレース事業に対する理解の増進を図る。		改修済の施設へ「地域公益事業 山陽オート」プレートを貼ることによりオートレース事業の理解を得る。	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
10,000,000円	8,166,760円	8,166,760円	8,166,760円
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	地域公益事業費	10,000		財(源割内合訳)	国庫支出金 ( )		
	(トラック購入経費)		2,804,410		県支出金 ( )		
	(空調設備工事)		2,858,100		地方債 ( )		
	(トイレ改修工事)		682,500		その他 (基金)	10,000	8,166,760
	(歩道改修工事)		1,821,750		一般財源 ( )		
合計		10,000	8,166,760	合計		10,000	8,166,760
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		0.1	628				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	公営競技事務所	No	3
-----	---------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	7	観光・交流の振興	4	宿泊・娯楽施設の充実
事業名	山陽オートレース活性化事業					
予算費目	款	1	競走事業費	項	2	事業費
	細目	1	事務費	細々目	1	事務費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ( )				予算種別	継続

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
小型自動車競走法施行規則の附則第2条に規定する特定活性化事業として行う。	TV等様々なメディアによる宣伝、ファンサービス、イベントなどの施策を実施し、集客及び売上の向上を図る。	包括的民間委託の受託業者による特定活性化事業として行う。	
活動指標		成果指標	
活性化事業による施設改修、宣伝広告、販売促進企画等を実施し、集客及び売上の向上を図った。		開催日数の減少があったにもかかわらず、売り上げの減少に歯止めをかけることができた。	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
20,000,000円	20,000,000円	20,000,000円	20,000,000円
			成果指標の到達度(B/A)
			100%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	包括的民間委託料へ充当	20,000	20,000,000	財(源割内合訳)	国庫支出金 ( )		
					県支出金 ( )		
					地方債 ( )		
					その他 (還付金)	20,000	20,000,000
			一般財源 ( )				
合計		20,000	20,000,000	合計		20,000	20,000,000

人件費概算	人工数(人役)	人件費(千円)
	0.15	729

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	公営競技事務所	No	4
-----	---------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	7	観光・交流の振興	4	宿泊・娯楽施設の充実
事業名	オートレース事業の包括的民間委託					
予算費目	款	1	競走事業費	項	2	事業費
	細目	1	事務費	細々目	1	事務費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ( )				予算種別	継続

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順
平成9年度から単年度赤字が続き、繰入金等により歳入不足を補っていたが、平成13年度からは繰上充用により補てんを行ってきた。このような中、累積赤字等を早期に解消するため、受託者とともに売り上げ増加に努め、債務の返済を優先した事業運営を図っていく必要があるため。	開催業務を包括的民間委託することにより、安定的な収益が確保できる。これにより、累積赤字を減少させる。	オートレース事業の包括的民間委託による。
活動指標		成果指標
包括的民間委託によるオートレース事業での収益確保を行う。		累積赤字額の減少。
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)
市収益保証 228,689千円 (売上額 11,400,000千円)	市収益保証 198,826千円 (売上額 9,652,194千円)	赤字解消額 55,000千円 (累積赤字 746,631千円)
		赤字解消額 69,212千円 (累積赤字 677,418千円)
		成果指標の到達度(B/A)
		125.8%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	包括的民間委託料	603,874	453,716,505	財(源割内合訳)	国庫支出金 ( )		
	義務的経費	8,924,298	7,545,162,279		県支出金 ( )		
	開催経費	2,344,179	2,018,380,293		地方債 ( )		
	市収益保証	228,689	198,826,328		その他 ( )	12,101,040	10,216,085,405
					一般財源 ( )		
合計		12,101,040	10,216,085,405	合計		12,101,040	10,216,085,405
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		2.4	11,669				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
最低保証により1億1千万円は確保できるが、公営競技納付金相当額による保証は売上の減少に伴い保証額も減少するため、売上の減少に歯止めをかけないと、市の安定的な収益保証の確保ができない。安定的な収益を確保するための、次期委託契約更新条件の早期検討。	1: 開催経費・義務的経費の削減(市及び包括委託受託業者) 2: 売上増加 (運営を受託している包括委託業者が実施、市は全面的に協力する) 施策①: 宣伝でお客様へPR、企画レース等変化のある運営 ②: イベント、ファンサービス等で来場者様へ特典 ③: 競輪場外発売所でのオートレース車券発売の推進

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	公営競技事務所	No	5
-----	---------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)	
	12	魅力と活力ある産業の振興	7	観光・交流の振興	4	宿泊・娯楽施設の充実
事業名	ホスト機器等リース料の支払					
予算費目	款	1	競走事業費	項	2	事業費
	細目	1	施設改善費	細々目	1	施設改善費
事務区分(根拠法令)	自治事務 ( )				予算種別	継続

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
平成9年度から単年度赤字が続き、繰入金等により歳入不足を補っていたが、平成13年度からは繰上充用により補てんを行ってきた。このような中、累積赤字等を早期に解消するため、受託者とともに売り上げ増加に努め、リース料を含む債務の返済を優先した事業運営を図っていく必要があるため。	リース料残額の計画的な返済。	オートレース事業の包括的民間委託により長期安定的に返済。	
活動指標		成果指標	
リース料支払額		リース料残額	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
75,954千円	75,954千円	1,211,324千円	1,211,324千円
成果指標の到達度(A/B)			
100			
%			

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	リース料	75,954	75,953,548	財(源割内合訳)	国庫支出金 ( )		
					県支出金 ( )		
					地方債 ( )		
					その他 (基金)	75,954	75,953,548
			一般財源 ( )				
合計		75,954	75,953,548	合計		75,954	75,953,548
人件費概算		人工数(人役)	人件費(千円)				
		0.1	628				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
施設改善基金からの取崩しとなるため、積立てを安定的に行う必要がある。	交付金還付制度の終了で、積立てできるのが、収益保証分と納付金相当額分のみになるので、人件費を維持して収益保証分を確保し、売上を増加させて、納付金相当額分を増額させることが改善策となる。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		土木課		河川港湾係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	12	魅力と活力ある産業の振興	7	観光・交流の振興	1	観光・交流資源の整備・充実			
事業名	きららビーチ焼野管理事業								
予算費目	款	8	土木費	項	3	河川費	目	1	河川管理費
	細目	1	河川管理費	細々目	1	河川管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ( )			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
「焼野海岸C.C.Z整備事業」により新たな観光資源として「きららビーチ焼野」が整備され、維持管理について山口県より市に委託されている。	「きららビーチ焼野」が市南部の観光・交流資源として多くの人に利用してもらえるように、海岸施設と排水処理施設の適正な管理を行う。	県との委託契約に基づき、施設の維持管理に要する費用を市が負担し、指定管理者に委託するほか、施設の修繕を行う。	
活動指標		成果指標	
修繕料		年間利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
800千円	811千円	20,000人	15,906人
			成果指標の到達度(B/A)
			80%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	修繕料	800	810,600	財(源割内訳)	国庫支出金 ( )		
					県支出金 ( )		
					地方債 ( )		
					その他 ( )		
			一般財源 ( )		800	810,600	
合計		800	810,600	合計		800	810,600
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.05	314,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
利用者の中には、夜間に騒ぐ、犬を散歩させて糞の処理をしない、花火やバーベキューの後片付けをしないなど、マナーの悪い人がいるため、近隣の住民から利用者への指導が望まれている。	施設の利用に関する案内看板を設置し、利用者への指導を強化する。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--